

多摩永山中学校だより

編集・発行 校長 佐藤 信雄

<http://schit.net/tama/ihtamanagavama/>

幸せと、安全と

校長 佐藤 信雄

いよいよ新1年生も入学して全学年がそろいました。始業式をはじめいろいろな機会に2、3年生に伝えてきて、新1年生には入学式でお話したことを、今日改めてお話ししたいと思います。それは「自分の幸せと、みんなの幸せを追求していきましょう。」ということについてです。

さて、急に話は変わりますが、今この日本で、1年間に交通事故で不幸にしてお亡くなりになる方は何人くらいおいでか、皆さんはご存じですか？ 日本の人口は、本当にざっくりと言うと一億一千万人くらいと言われていますが、そのうち悲しいことに交通事故で命を落とされる方が毎年だいたい何人くらいおいでなのでしょう？ 答はだいたい2,500人くらいです。

また、これもたいへんつらく悲しいことですが、一年間に自ら命を絶つ方の人数は、ざっと20,000人です。多摩永山中学の生徒数がおおよそ250名ですから、全国では本校生徒数の9倍の方が交通事故で亡くなり、74倍の方が自ら命を絶っているということになります。

誰も好んで死のうという人はいません。思いがけず事故で亡くなった方や、そのご家族やお友達の方のお気持ちはいかばかりか…。また自ら命を絶った方の辛く悲しい心中を思うと、無力感に襲われます。みんなが、幸せに生きていたらよかったのに、と心から思われます。

しかし、交通事故で言えば、事故を起こした加害者の人も、辛く苦しい後悔と反省の念でいっぱいでしょうね。自分が起こした事故のせいで人の命が失われたのですから。命を奪わないまでも、大けがなどをさせて痛みや苦しみを与え、生活を台無しにして、多くの方を苦しめた事実を思い返すたび、「なんでこんなことをしてしまったのか…。」と自分を責め続けることでしょう。

誰だって、好き好んで他人を傷つけたり、命を奪おうとは思わないのです。それなのに、意に反して、私たちは偶然や不注意で事故を起こしてしまったりします。そして、そのことで他人を傷つけてしまったりします。本当に交通事故には気をつけないといけません。でも気をつけたいのは、町での交通事故だけではないのです。生徒のみなさんには、もっと身近から、安全に気をつけてほしいことがあります。

私たちは、体の大きさがみんな違いますね。大柄の人もいれば、小柄の人もいます。歳が違えば、体の大きさにもずいぶんと差があったりします。その大柄な人と、小柄な人が、お互いに走っていて、突然ぶつかったりしたら、どうなるでしょうか？ 場合によっては、小柄な人は弾き飛ばされて、ケガをしてしまうのではないのでしょうか？ 最近は町の中でスマートフォンを眺めながら歩いている、いわゆる「ながら歩き」の人をよく見かけます。あれも危ないですが、前が見えにくくなるのはスマホを眺めている時だけではありません。曲がり角の向こうに誰がいてどうしているのか、角が邪魔になって目には見えませんね。ですから、曲がり角を気にせずに走っていたりしたら、向こうから来た人とぶつかってしまうこともあり得るわけです。実際に、自動車の事故では曲がり角、カーブで起きる事故が大変多いのです。迫ってくる存在が見えない、見えにくいからです。

ですから、学校でははしゃいで飛び回ったり、走り出したり、ダッシュしたりは、決してしないでください。休み時間になると、教室から廊下に突然飛び出してくる人をよく見かけます。休み時間になって嬉しいのですが、そんな時こそ落ち着いて、一呼吸待ってから、行動に移ってください。事故は、多くの場合、心のもち方で防ぐことができるのです。事故になって友達にけがをさせてしまったりはしたくありませんよね。

そして、学校にはいろいろな人がいます。生徒にもいろいろな人がいます。外見ではわからないけれど、ケガをして体の一部を傷めていたり、病気を抱えていて衝撃を避けなければならない人もいるでしょう。誰がどんな事情を抱えているかわからないのです。ですから、そうした人にケガをさせたり、怖い思いやヒヤッとさせる思いをさせてはいけません。そんなことは、みんなの幸せにはならないのです。

皆さんの手も、身体も、他人を傷つけるためのものではありません。幸せを生み出すためのものです。悲しい表情の生徒を見たくはありません。そして、生徒の皆さんにはケガなどせずに健やかに、気持ちよく過ごしてほしいのです。1人1人が気を遣えば、誰も辛い思いをせずに安全に過ごすことができます。

生徒の皆さん、どうか安全への意識を大切に、多くの方が共に過ごす場所での行動には、十分に気をつけてください。よろしくお願ひいたします。(令和6年4月17日(水)の朝礼でのお話に加筆しました)

多摩永山中学校の柱～「7つの習慣」～

本校が、学校経営のシンボリックな柱として「7つの習慣」を立ててから、今年で5年目となります。

7つの習慣とは、スティーブン・R・コヴィー博士によって想起された概念で、1996年に書籍として出版されました。著者自身の経験を思索によって練り上げ、成功哲学や人生哲学や自助努力といった人間の生活を広く取り扱っており、ジャンルとしてはビジネス書としてのほか、人文・思想、倫理・道徳、人生論・教訓、自己啓発などに分類されることもあります。それだけ広い読み方のできる著作となっています。

さて、コヴィー博士が提唱した7つの習慣とは、どんなものなのでしょう？ また、なぜ多摩永山中学校は、この考え方を大切にしてほしいと生徒に伝えているのでしょうか？

コヴィー博士は、長年の自分の経験と思索から、個人や集団（組織）が成功するためには大切なことを「習慣」として身につけ、日々実践していくことが大切だと考えるに至りました。その大切なことを広く世の中に伝え、だれもが幸福と成功を手に行けるようにとの願いから、7つの習慣にまとめたのです。

はじめに インサイド・アウト

まず自身が変わること。そののちに環境や他者が変わっていく。

第1の習慣「**主体的である**」 leader in me（リーダーインミー）自分が自分のリーダーであれ。

- ・自身に、存在としての、また行動主体としての、「自己」を意識させる。
- ・やらされている感から、「自らで」への転換。
- ・自ら、自身の幸福を追求する態度を養う。

第2の習慣「**ゴールを思い浮かべることから始める**」

- ・最後のイメージ（ゴール）を想定し、それに近づき、実現するための方法を検討し、取り組みを始める。

第3の習慣「**最重要事項を優先させる**」

- ・取り組みに優先順位をつけ、ゴールへの到達のために最重要なものからまず取り組む。

第4の習慣「**Win-Win（双方の利益の関係）を考える**」

- ・自分も相手も、お互いにWin-Winとなる状態を想定し、合意形成を図る。

第5の習慣「**まず理解し、そして理解される**」

- ・まず傾聴等で相手理解に努め、その次に、自分を相手に理解してもらうよう努める。

第6の習慣「**シナジー（Synergy 相乗効果）を創り出す**」

- ・単に自分の意見を通す、相手の意見に折れるのではなく、相乗効果のある第三案を考える。

第7の習慣「**磨く**」

- ・人のもつ4つの資源（肉体、精神、知性、情緒）を維持、再生（更新）することに努める。

終わりに 再度のインサイド・アウト

- ・自己の完成はなく、変容に終わりはない。
- ・良いことは残し、悪いことは改めて、次に、次の世代に、つないでいく。

この7つの習慣の概念は、多摩市が推進するESDの考え方も含むものです。広義にとらえれば、人類全体の今後の発展と幸福に、個人としてとらえれば個々の人々がそれぞれ幸福に暮らすために、大切にしたい考えと行動ばかりです。これらを、学校生活の様々な場面で身につけようと意識し、行動し始めれば、自分が変わり、集団が変わり、世界が変わって毎日も変わる、その果てにやってくる新しい今=未来もよいように変わる、という期待を込めて、本校ではこの7つの習慣を導入しています。さあ、一緒に始めていきましょう。

新入生歓迎会が開かれました

4月11日（木）午後、新入生歓迎会が生徒会主催で開かれました。準備から当日の運営まで生徒が自ら取り組みました。まず生徒会本部により学校生活や生徒会の取り組みがスライドで紹介されました。続いて各委員会の前年度委員長から学級委員会などの紹介がありました。次はお楽しみの部活動の発表です。吹奏楽部の演奏を皮切りに、音楽ありダンスあり、コントや寸劇ありの楽しいパフォーマンスが繰り広げられました。新入生も皆さんも楽しんでくれたようです。在校生からの校歌の紹介の後に、新入生各クラスにお花を贈呈し、新入生代表生徒のお礼の言葉で幕を下ろしました。この催しでは、年度の初めからとても主体的な生徒の活躍が見られました。まさに「7つの習慣 その1 主体的である」ことの素晴らしさを実感することができた、うらかな春の午後でした。



生徒会の取り組みを紹介



颯爽と女子バスケット部登場

1人で悩まないでくださいね 相談先があります

新年度が始まって1か月がたちました。いろいろな疲れが出てきたり、「うまくいかない」「辛い」という気持ちが出てきた人もいるかもしれませんね。

そんな皆さんのために、相談窓口をご案内いたします。担任の先生や部活動の顧問の先生や保健室の先生、おうちの方と、相談相手があなたの周りにはたくさんおいでです。けれども、一人で苦しんでいる場合もあると思います。ちょっぴりでいいので勇気を出して、ぜひどなたかに相談をなさってみてください。

その相談先として、今回は2つご紹介します。本校ホームページの「お知らせ」の所にも掲載されており、そこからですと簡単にサイトの中に入れます。

◆24時間365日誰でも無料・匿名 **あなたのいばしょ** 電話、チャットで相談OK
あなたのいばしょホームページ → <https://talkme.jp/>

「あなたのいばしょ」は、24時間365日、年齢や性別を問わず、無料・匿名で利用できるチャット相談窓口です。厚生労働省支援情報検索サイト登録窓口ですので安心して利用いただけます。最短5秒で国内外にいる「いばしょ相談員」が相談に応じます。皆さん、ほんの少しの勇気をもって、相談してみてください。必ず光がさしてきます。本校のホームページにも載っています。

◆まもろうよこころ ホームページ → <https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/>

同じく厚生労働省相談窓口として開設されているのが「まもろうよこころ」です。冒頭には「悩みがある方・困っている方へあなたをサポートするためのさまざまな取り組みがあります。もしもあなたが悩みや不安を抱えて困っているときには、気軽に相談できる場所があります。相談方法もいろいろなものがあるので、ご希望の窓口を選んで話してみませんか?」とあります。た

くさんの電話窓口や、多種類のSNSにて対応してくれる相談窓口が設けられています。もちろんチャット相談も用意されています。まずはホームページをご覧ください。こちらもホームページに載っています。

サトイモの植付をしました ボランティア始動！



クワはこう使うんだよ



なかなか難しいですね



等間隔で肥料を置きます

4月19日（金）のさわやかな午後、学校の畑にサトイモを植え付けました。学校運営協議委員で相澤農園の相澤様や地域の皆様のご指導をいただきながら、ボランティアで参加した生徒のみなで、鍬を使って土を起こし、畝を立て、肥料をまき、種イモを植え付けました。昨年度は夏の猛暑のせいでサトイモの生育が良くなかったのですが、今年はすくすくと育ててほしいですね。ご指導してくださった皆さま、ボランティアで参加してくれた生徒の皆さん、ありがとうございました。秋には楽しく芋煮会ができればいいですね。

チャレンジルームからのお知らせ

別室支援室「チャレンジルーム」では、毎日、複数のチャレンジサポーター（支援員）の方がおいでです。「どうしても教室に入りづらい」「学校に行くのがつらい」という生徒の方も、まずはチャレンジルームで会話をしたり、ゆっくりと自分のペースで過ごしてみたいかかでしょうか？ まずは担任か副校長にご相談ください。

躍進する部活動、活躍する生徒の皆さん【敬称略】

○ソフトテニス部

第7ブロック日南支部学年別大会 3月23日

2年生女子の部 準優勝 齊藤 遥・齊藤 空 ペア (現3年)

1年生女子の部 準優勝 井上 咲・三好 梨陽 ペア (現2年)

第7ブロック日南支部春季大会 4月13日～

女子の部 第3位 齊藤 遥・齊藤 空 ペア (3年)

第3位 中野 礼菜・石垣 美空 ペア (1年)

男子の部 第3位 鈴木 碧大・鏑木 海斗 ペア (3年)



そうだ、図書館へ行こう！

今年度から新しく図書館司書として、宮居未知先生がおいでになりました。自己紹介をいただきました。



宮居 未知 (みやい みち) 先生

4月に着任しました司書の宮居未知です。多摩市の学校図書館で勤務するのは、本校が4校目になります。趣味は「カフェめぐり」です。かばんに本をしのばせて、素敵なカフェを見つけたらそこに入って、本を読むのが至福の時間です。学校図書館司書としてのモットーは、「子どもたちに物語と知識と居場所を提供する」です。

みなさんがホッとできる、あたたかな雰囲気为学校図書館を目指していきたいと思っています。どうぞ気軽に図書館へ遊びに来てくださいますようお願いいたします！

◎今月の一冊『月夜とめがね』(著者 小川未明、絵 げみ 2019年 立東社「乙女の本棚シリーズ」)

「ほんとうに、いい月夜でした。」この言葉で終わる物語の美しさは、おそらく何にも喩えようがないでしょう。童話と言えば童話なのですが、抒情詩の趣もあります。月の美しい夜の、いつきのおとぎ話ですが、今の季節に読むにはピッタリと言えましょう。この「乙女の本棚シリーズ」は、古今東西の短編の名作に、新進のイラストレーターが絵を添え、絵本としても楽しめる一冊になっています。物語が好きな人も、絵が好きな人も、どちらも楽しめるシリーズになっています。今から100年も前に、このように美しい物語が織りなされていたのです。幾億幾千のYouTubeの動画などにも、この物語に匹敵する美しいものがあるかどうか…？ 読みながら、ページごとに目をつぶって情景を想像して楽しんでいただきたい一冊です。まさに今、初夏の近い春の夜に読むことを心からお薦めいたします。



『月夜とめがね』初出は1922年雑誌『赤い鳥』。現代は『月夜と眼鏡』

放課後学習 **ちいきみらいじゅく 地域未来塾** のご案内です

4月19日(金)に、お知らせをお子様を通して配布いたしました。基礎学力を、自分のペースで身につけられる放課後学習です。授業の復習などもできます。地域人材の指導員が対応します。「勉強が分からない」「塾に行かなければダメかな?」と悩んでいる生徒の皆さんや、家庭勉強のペースが身についておらず困っている生徒の皆さん、お問い合わせは担任の先生か副校長先生へどうぞ。

毎週 月(1年生)・金曜日(2・3年生) 15:30~17:30 2~4階の学習室にて 5月10日(金)開始

離任式が開かれました 「懐かしい皆さん、お元気ですか？」

4月26日(金)6校時、体育館にて令和6年度の離任式が開かれました。3月19日(火)に各種報道で先生方の異動が発表され、同25日(月)に校長からも発表がありました。こうして離任式を開催し、改めて正式にお別れを交わし、生徒からお礼の言葉と花束を贈呈することができたことは、何より嬉しいひと時でした。

長い間多摩永山中学のために頑張ってくれた先生方のためにも、私達も頑張りましょう！